

第 37 回運営会議（2004. 9. 07 開催）結果報告		2004. 9. 08 庶務発信
開催日時：	2004 年 9 月 7 日（金）10:00～11:20	
場 所：	ぱ・る・るプラザ京都 6 階会議室 5	
参加者数：	運営会議委員 4 名（委員長、治水部会長、淀川部会長、住民参加部会長） 河川管理者 3 名	
検討内容、 決定事項	<p>1 各会議の今後の進め方について （会議の進め方について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの会議では、河川管理者の資料説明に対して委員は質問するにとどまるなど、委員の活動が受け身であった。今後は、委員自ら資料を読み込み、意見をとりまとめる。その際、不十分な資料については、新たに河川管理者に求めるという方向が望ましい。</li> </ul> <p>（拡大学習会（9/23））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ダムWGのメンバーとそうでない委員間に、ダムに関する調査検討結果等についての認識差があると思われることから、9月23日午前中に拡大学習会を開催する。</li> <li>位置づけは委員による学習会であり、対象は委員全員、河川管理者の出席は任意とする。学習会なので、定足数は関係なく、また非公開で良いものとする。</li> <li>論点は、前もって整理して示すこととする。</li> </ul> <p>（ダムWG（9/23））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9月23日の午後13～17時に第5回ダムWGを開催する。（同時間帯に予定していた川上ダムサブWGは中止とする。）</li> <li>その際、河川管理者から、進展した調査の一部に関して、新たな資料提供による説明を1時間行う。資料2-1「ダムWG審議事項について」の中に位置づけた項目等の事前通知を行い、円滑な審議に協力する。</li> </ul> <p>（委員会（9/29））</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次回の委員会で審議することは、9/23の議論を踏まえた地域部会およびダムWGの報告をお願いしたい。単なる報告ではなく、今後のとりまとめの方向性に関して、委員会にて議論してほしい点を示してもらいたい。</li> </ul> <p>（地域部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後、地域部会には、関係するダムサブWGのリーダー、副リーダーは基本的に参加してもらうものとする。</li> <li>地域部会でダムに関して検討する場合は、関係するダムサブWGを合同開催する形とする。なお、開催案内は全委員（52名）に送るものとする。</li> </ul> <p>2 意見書のとりまとめについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の意見書は、可能な範囲でとりまとめ、積み残しがある場合は課題として明示する。コストベネフィットに関する検討まではいたらないであろう。一方、水位操作、堤防強化、最大既往降雨等に関して、委員会としての考え方を提示したい。</li> <li>現在の議論では合意形成は難しい。そこで、運営会議にて骨子を作り、委員に示して承認をもらう形も考えられるのではないかと。</li> <li>資料2-3「ダムの調査検討に関わる委員会での検討スケジュール（案）」について、ダムサブWGが各ダムに関する意見をとりまとめるにあたり、3つのダムサブWGを合同開催して検討を進める。この会議が主体となり、11月から意見書案のとりまとめを</li> </ul>	

始める。また、地域別部会は、関連ダムに関する検討を12月まで行うものとする。  
以上、詳細はダムWGリーダーの指示のもとに調整する。

4 日程調整について

- ・ これまで各会議ごとに所属メンバーを対象に日程調整を行っていたが、今後は、多数の会議開催が見込まれるため、定期的（月初と月間等）に全委員および河川管理者のスケジュール情報を収集して参加可能人数の多い期日に会議を設定する方法をとる。

以上

※このお知らせは委員の皆様には主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。